



教育

おおらか さわやか きわやかな人を育む大崎の教育

問 教育委員会 管理課 476-1111(401)

外国語指導助手のジョシュア先生が離任されました

平成 23 年 9 月より、小中学校の外国語指導助手として活躍していただきましたジョシュア・ピーターソン先生が、3 月をもって離任されました。

『親愛なる大崎町の皆さんへ。』

楽しく、笑いに満ち、優しさに包まれた 1 年 7 か月の間、ありがとうございました。私自身、大きく成長することができ、とても感謝しています。最後に私から生徒の皆さんに一言伝えたいと思います。

「一生懸命勉強し、先生にたくさん質問をしましょう。英語を話すことや失敗することを恐れないでください。みんなのがんばりを先生は信じていますよ。」

私は大崎と、皆さんのことを決して忘れません。ありがとうございました。

ジョシュア・ピーターソン



まなびの窓おしえの庭

生活の学び

社会福祉法人どんぐり福祉会

菱田保育園 園長 甲斐崎 中

No.17

子どもの生活と環境は、親がつくり与えるものです。子どもの体と心を安定させ、健やかに過ごさせることが大切です。『しつけ』の中に『寝かしつけ』があります。将来、このことが人生を左右するほどの影響力をもつこととなります。適切な環境が与えられ、きちんとした生活リズムを身につけることで、日々の流れを意識する習慣が得られます。このように、生活の中に計画性が芽生えたと入園や入学といった大きな変化にも自然な形で対応できるようになるのです。

ここで『寝させさせ』と『寝かしつけ』の違いについて考えてみたいのです。前者は、ことばで言い聞かす一方的手段です。子どもに寝ることを強要するばかりで、いつまでも寝ないでいる親に子どもは納得ができずにいるのです。後者は、親が添い寝をすることで子どもを眠りに誘うことです。親子が同じ行動をとることで、子どもの心に安心と納得を与え、ここに子どもたちの成長の土台が築かれていきます。子どもにとって『生活の学び』とは、親や周囲の人たちとのかかわりの中から得られるもので、体力・気力・学力の向上にも大きく影響するものです。

子どもが健やかに過ごせる環境とは、人が人らしく元気に過ごせる環境のことです。私たち大人が子育てにかかわる時間は、人生の中のほんのわずかな間です。いっそのこと、この貴重な子育て時期を『子ども優先』で過ごしてみたいかがでしよう。その結果として、家庭の生活環境が改善され、家族全員の体も心も元気に変わってくれるでしょう。



平成 25 年度は、偶数月は『まなびの窓 おしえの庭』とし、有識者に執筆していただきます。奇数月は『僕の夢 私の夢』とし、町内の小中学生の作文を紹介する予定です。